

いなべ市 議会だより

第29号

平成23年5月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会



石榑保育園の5歳児

保育園最後の1年となりました。

「みんなでいっぱい遊びよ。思い出いっぱいいくよ。」

3月定例議会

- 平成23年度当初予算の要点……………P2～P3
- 平成23年度主な市の事業……………P4～P5
- 常任委員会の審査結果……………P6～P8
- 反対VS賛成討論……………P9～P11
- 市長側から予算訂正がありました……………P12
- 議員が動議を提出しました……………P12
- 議案の審議結果一覧表……………P12
- 5会派が代表質問……………P13～P18
- 10人が一般質問……………P19～P24
- 市民の声……………P24～P25
- クイズの当選者……………P26
- 山郷重度障害者生活支援センター竣工式……………P26
- 編集後記・6月定例議会(予定)……………P26

平成23年度 一般会計

当初予算の要点をお知らせします。

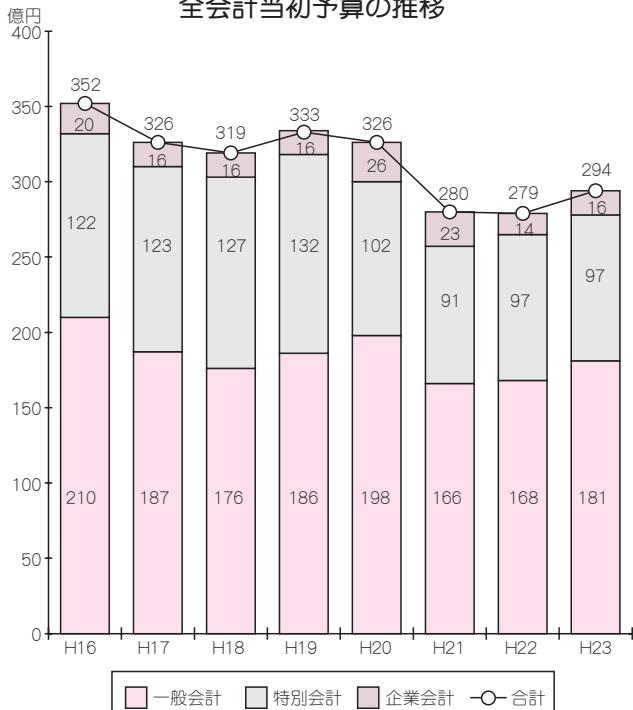
全会計当初予算の状況

区分	平成23年度 予算額A	平成22年度 予算額B	比較	
			増減額 A-B	増減率 (A-B)/B
一般会計	18,067,000	16,800,000	1,267,000	7.5
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	0	14,550	△ 14,550 △ 100.0
	農業公園事業	120,800	125,000	△ 4,200 △ 3.4
	国民健康保険	4,436,750	4,447,000	△ 10,250 △ 0.2
	老人保健	0	710	△ 710 △ 100.0
	後期高齢者医療	754,700	795,610	△ 40,910 △ 5.1
	介護保険	2,471,400	2,382,500	88,900 3.7
	農業集落排水事業	272,140	275,150	△ 3,010 △ 1.1
	下水道事業	1,643,650	1,646,840	△ 3,190 △ 0.2
	小計	9,699,440	9,687,360	12,080 0.1
企業会計	1,605,680	1,399,759	205,921	14.7
合計	29,372,120	27,887,119	1,485,001	5.3

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算に不一致の場合があります。

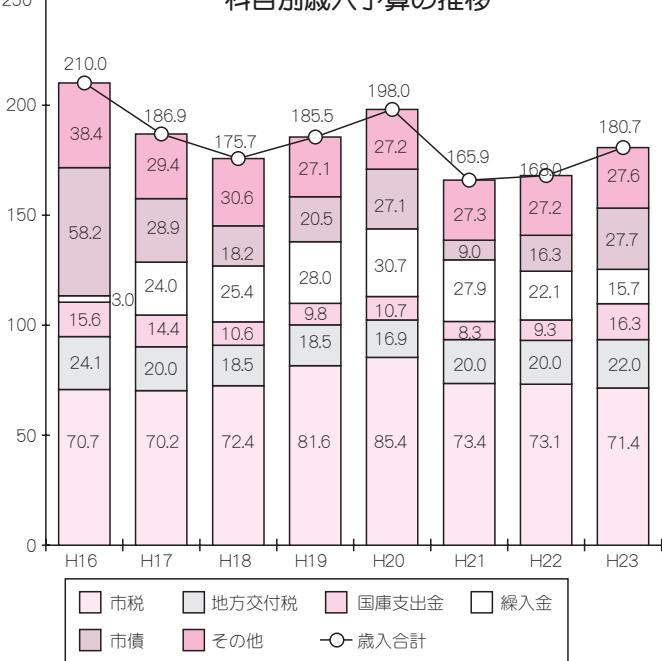
- 一般会計……地方公共団体の基本的な経費が中心として計上され、その意味では地方公共団体存立の目的を達成するために要する経費を経理する会計です。
 特別会計……一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区分して別個に処理するための会計です。
 企業会計……一般的には、株式会社等の民間企業における会計をいうもので、地方財政上は、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計です。

全会計当初予算の推移

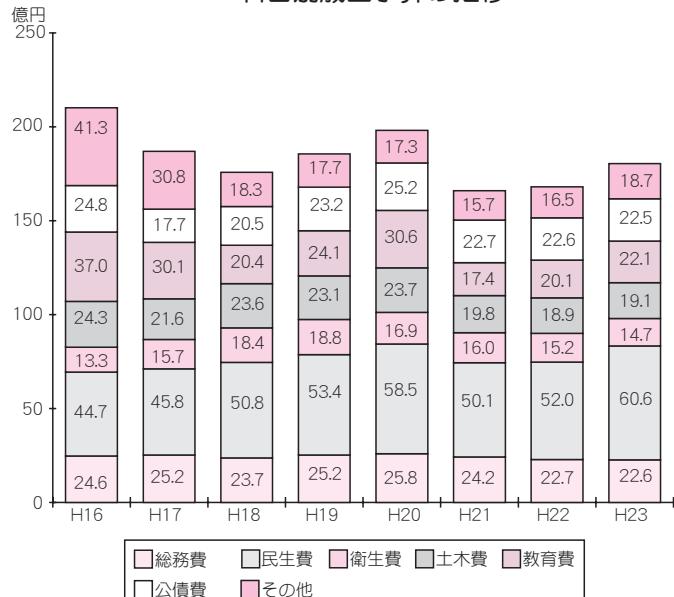


一般会計は、約181億円で前年度と比較すると12億7千万円の増となりました。これは、こども手当給付費や義務教育施設などの投資的経費の増によるものです。

科目別歳入予算の推移



科目別歳出予算の推移

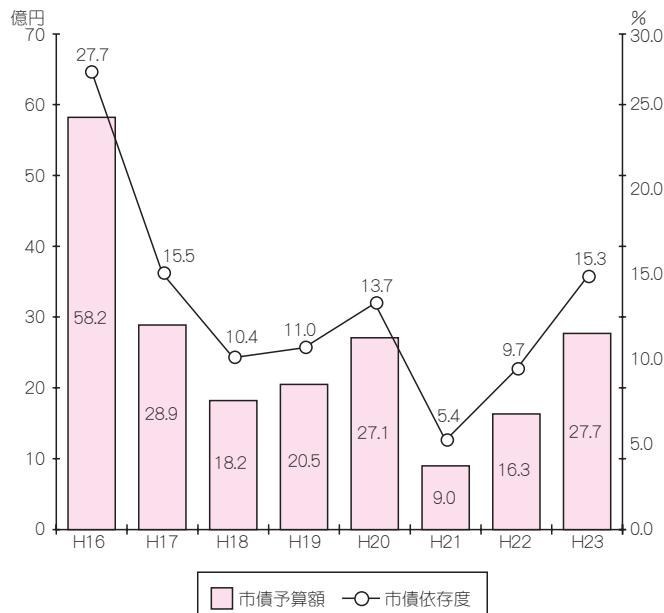


平成23年度の経済は、本格的な回復の軌道に乗っておらず、慢性的なデフレが続くことが予想され、個人所得の減少が見込まれるため、市税を約71億円としております。前年度と比較すると約1億6千万円の減となりました。ピークである平成20年度決算額約96億円に比べると約25億円少ない額になります。

議会費は、議員年金制度廃止に伴い、約7千万円の増となりました。民生費は、こども手当給付費、笠間保育園整備に伴い約8億6千万円の増となりました。商工費は、青川峡キャンピングパークで児童野外活動施設の建築を行うため約1億1千万円の増となりました。教育費は、学校給食施設の整備や大安中学校校舎改築の設計などで約2億円の増となりました。

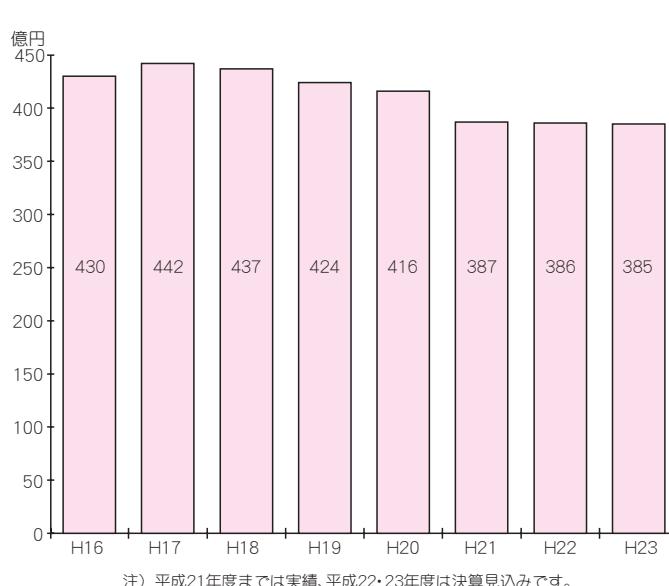
当初予算が賛成多数で可決

市債予算額・依存度の推移（借金）



平成23年度の市債（借金）予算は、前年度と比較すると、約11億3千万円の増となりました。合併特例債は、員弁東小学校建設、笠間保育園整備などに借り入れを行います。なお、依存度は市債が歳入全体に占める割合を表した数値です。

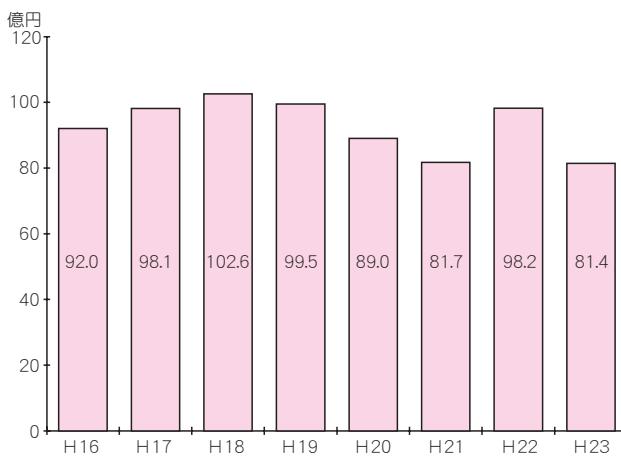
全会計地方債現在高の推移（借金）



注) 平成21年度までは実績、平成22・23年度は決算見込みです。

全会計の地方債（借金）現在高は、平成22年度末の約386億円から約1億円減少して、平成23年度末で約385億円となります。市民1人当たりの残高にすると、825,471円となります。（人口は、H23.1.1現在人口46,605人）

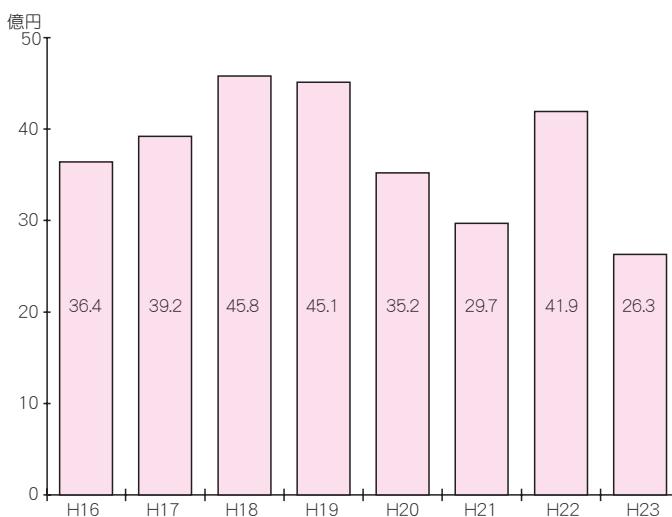
全会計基金の推移（貯金）



注) 平成21年度までは実績、平成22・23年度は決算見込みです。

全会計の基金残高は、平成22年度末の約98億円から約17億円減少して、平成23年度末で約81億円となる見込みです。市民1人当たりの残高にすると、174,553円となります。（人口は、H23.1.1現在人口46,605人）

うち、財政調整基金の推移（貯金）



注) 平成21年度までは実績、平成22・23年度は決算見込みです。

財政調整基金……災害や急激な景気後退などの不測の支出や減収に備えるとともに、年度間における財源の不均衡を調整するための基金です。

財政調整基金は、平成22年度末までに前年度繰越金などにより約12億円の増を見込んでいます。平成23年度は、市税収入の減少が見込まれており、財源不足に充てるため基金残高がする減少する見込みです。

平成23年度 いなべ市の事業 ～各会計予算を慎重審議のうえ可決～

今年度の「いなべ市」の主な事業を紹介します。

新しい道づくり

市道整備は昨年度に引き続き、市道笠田新田坂東新田線と市道大井田3区292号線の整備を進めます。市道笠田新田坂東新田線は用地の9割、工事も5割ほど進んでおり、完成は平成25年度を予定しています。市道大井田3区292号線は用地の8割、工事も2割ほど進んでおり、部分的ですが三岐鉄道東側の市道江丸線から市道高柳南金井線（旧国道365号）の間は、4月から通行可能となります。

また、県道南濃北勢線の飯倉バイパスはルート変更により遅れましたが、今年度事業で完成する予定です。飯倉地区の安全確保のためにも、早期施工、早期開通を県に対し要望します。いなべ総合学園の東側を通る、主要地方道四日市員弁線バイパス（員弁大安線）については、員弁川に架かる橋梁の詳細設計と用地測量が行われます。橋梁を架設し、国道365号といなべ総合学園前を通る市道西方上笠田線を連絡する工事から始まる予定です。



4月から通行可能となった市道江丸線から市道高柳南金井線（旧国道365号）の間

新しい笠間保育園の誕生

笠間第2保育園は築後40年近く経過しており、老朽化が進んでいます。また、一昨年度に実施した耐震診断では大規模な耐震補強が必要と判定されました。さらに、子どもの数も少なくなっていることから、笠間第1保育園と第2保育園を統合し、笠間小学校の隣接地に新たな園舎を建設します。今年度は用地取得と設計を行い、平成24年度に建設工事、平成25年4月に新しい笠間保育園がスタートする予定です。

出前ひろばの強い見方

出前ひろばは交通手段が制約されるなどの理由で、子育て支援センターへ行けない親子を対象に、センター職員が遊び道具を持って地域の子育て応援団の人たちとともに、自治会館や公園へ出向くという子育て支援サービスです。この取り組みは平成16年度から行われ、当初年4回の開催でしたが、平成21年度には83回にまで増え、今後は125回まで増やす予定です。さらに、この取り組みに強い味方ができました。市内企業からいただいた寄付をもとに、軽車両のキャンピングカーを購入したのです。授乳が必要になった場合やお子さんが眠ってしまった場合などの対応が心配ということで、出前ひろばに参加することをためらう親さんがみえましたが、キャンピングカーの導入で参加しやすくなるものと期待しています。



市内企業から寄付をいただいた軽車両のキャンピングカー



新しい笠間保育園の建設予定地（笠間小学校横）

いなべそばの6次産業化

市内のそばの作付面積は85ha、一昨年に比べ25ha増え約1.4倍に、5年前に比べ約15倍になりました。そばは元来、水を嫌う性質があり、米作りにおいて水の確保に苦労する地域にとっては、生育、生産に適した作物であるといえます。また、獣害が多い山間部でもサルの被害は発生していないことから、作付けを奨めています。生産（第1次産業）だけでなく、加工（第2次産業）や販売（第3次産業）まで手掛けることにより、より付加価値の高い6次産業化（1次+2次+3次）を目指します。



蕎麦畑（大安町）

生まれ変わる学び舎

員弁東小学校は築後40数年を経過し、老朽化が進んでいることや、耐震対策がなされていないことから、改築の必要性に迫られていました。昨年度から新校舎の設計を進めてきましたが、いよいよ今年度から建築工事に着手します。授業に支障がないよう既存校舎を利用しながら、南側と北側に新校舎を建築し、その後既存校舎を解体します。工事は平成23年度、24年度の2カ年を見込んでいます。

また、大安中学校も築後50年近くが経過しており、昨年度実施した耐震診断では、対策が必要との結果が出ました。建物のコンクリート強度不足も指摘されており、こちらも校舎改築の計画を進めます。両校の改築工事により、すべての小中学校で耐震対策が完了することになります。



平成23年度、24年度の2カ年で建て替えを見込んでいる員弁東小学校の校舎

給食の完成実施

合併後、中学校の給食実施が課題となっていましたが、夏休み明けの2学期から、未実施の北勢中学校、員弁中学校で給食を開始します。昨年度は、両校で給食受け入れのための施設を改修しましたが、今年度は給食センターの改修工事と配達用保冷車及び食器の整備に加え、夏休み期間中に調理訓練と配達訓練を十分に行い、万全の体制を整えます。両校の給食開始により、藤原地区の全小中学校と員弁中学校は藤原学校給食センターから、大安地区の小中学校と北勢中学校及び員弁西小学校は大安学校給食センターから給食が届けられます。員弁東小学校は改築が完了次第、大安学校給食センターから届けることになります。北勢地区の各小学校は今までどおり自校で調理します。



員弁中学校に新築された給食受け入れ施設（ランチルーム）

藤原岳自然科学館の機能移転

藤原岳自然科学館は、藤原岳周辺の恵まれた自然を活用し、標本展示や自然教室を実施していましたが、老朽化と耐震基準を満たしていないとして取り壊されることになりました。そこで、その機能を藤原文化センターへ移し、隣接する「ふるさとの森」とも連携することで、藤原文化センター全体に「自然との共生」のようなテーマを持たせた施設運営を目指します。



藤原文化センターに隣接する「ふるさとの森」

常任委員会の審査結果

総務常任委員会

付託案件の審査、3月14日（議案4件）

- 暴力団排除条例の制定……………（全員賛成）
- 附属機関の委員の見直しに伴う関係条例の整備……………（全員賛成）
- 平成22年度一般会計補正予算（第8号）……………（全員賛成）
- 平成23年度一般会計予算……………（全員賛成）

委員会での主な質疑

平成23年度一般会計予算

Q 災害対策用備蓄資材購入事業だが、このたびの大震災で、ある自治体では水・食料等の備蓄が2日分しかなかったということで、非常に不足しており、市民の怒りが報道されていた。市の備蓄内容の主なものの説明を。



災害用備蓄品を降ろす職員（岩手県大船渡市）

A 備蓄の水・食料ですが、基準としては、県が示している地震に対する災害想定規模から勘案して、地震による避難者が約450人と想定している。それと藤原町ないし土砂災害危険区域の避難者が100人で、合計年間約550人を想定している。その3食3日分で5,000食を3年間継続して15,000食を備蓄している。備蓄食糧は、α米・水・クラッカーなどで、消費期限が5年間ということと幸い大きな災害も起きていないので、消費期限がせまっているものについては、自治会等の防災訓練の際に提供している。

まずは、自分の身は自分で守るということで、これらの物を各自で備蓄してもらうように周知している。

Q コミュニティバスから福祉バスに変更して経費は増えたと思うが、これについて今後増えた経費を削減していく方策等はあるのか。また、社会福祉協議会に委託して続けるのか。直営方式なのか。どういう方向で運営していくのか。



福祉バス

A 社会福祉協議会に委託するのかについては、平成23年度から直接シルバー人材センターと委託契約をする。コムニティバスより福祉バスのほうが増えているのは、スクールバスと福祉バスを別々に運行にしたのが経費増の要因である。福祉バスに限っては、平成22年度から無料の福祉バスとして運行し、コムニティバスの約1.6倍の利用者増である。これは福祉バスの利用者で病院へ行く方が多く、利用が午前中に集中していることから、4月からはダイヤ改正の予定をしている。自治会のほうへも説明は済んでいる。

最終便については、あまり利用者がないから減便をする予定である。この減便によって運行時間がこれまでより2時間短縮でき、運行経費も削減できると考えている。平成24年度以降も利用者の少ない便については、減便等を検討し、経費削減に努めたいと考えている。

教育民生常任委員会

付託案件の審査、3月15日（議案13件）

- 特別会計条例の一部改正.....(全員賛成)
- 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正.....(全員賛成)
- 国民健康保険条例の一部改正.....(全員賛成)
- 障害者活動支援センターの指定管理者の指定.....(全員賛成)
- 平成22年度一般会計補正予算（第8号）.....(全員賛成)
- 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）.....(全員賛成)
- 平成22年度老人保健特別会計補正予算（第1号）.....(全員賛成)
- 平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）.....(全員賛成)
- 平成22年度介護保険特別会計補正予算（第2号）.....(全員賛成)
- 平成23年度一般会計予算(賛成多数)
- 平成23年度国民健康保険特別会計予算(全員賛成)
- 平成23年度後期高齢者医療特別会計予算(全員賛成)
- 平成23年度介護保険特別会計予算(全員賛成)

委員会での主な質疑

平成23年度一般会計予算

Q あじさいクリーンセンターの延命措置の予算関係で首長の考えもあると思うが、10年後に桑名広域清掃のRDFが中止となる中で、大規模な焼却施設建設が必要になってくる。市としては、今後のあじさいクリーンセンターについてどう考えているのか。



ごみピット内のクレーン（あじさいクリーンセンター）

A RDFの中止を視野に入れ、桑名広域清掃は今年から10年後の平成33年に向けて協議を始めるということである。あじさいクリーンセンターの延命措置については、精密機能検査をしてみないと分からぬ状況である。平成23年度に精密機能検査を行い、向こう15年ないし20年間ゴミ処理機能が担保されるのであれば、桑名広域清掃とゴミ処理の議論になろうかと思っている。

また、精密機能検査結果で長寿命化が不可能であれば、市単独でゴミ処理施設を建設するのか、桑名広域清掃と歩調を合わせるのかの選択になってくる。

平成22年度一般会計補正予算（8号）

Q 図書システムについて、説明いただきたい。



大安図書館

A 市にある4つの図書館をインターネットで通じ、各市町の図書館、県立図書館、大きくは国会図書館などインターネットでつなげて、図書館に検索をかけることができるシステムである。いなべ市の図書館に本がなくても、県立の図書館にあれば、そちらの方に連絡をして本を借りることが可能である。

については、そのシステムが古くなり、メーカーの保障がなくなった。システムが故障した場合に修理期間が長期になる可能性があるので、システムの改修も含めて新規の構築費を計上した。

いなべ市議会だより

産業建設常任委員会

付託案件の審査、3月16日（議案13件）

- 特別会計条例の一部改正.....(全員賛成)
- 水道事業の設置等に関する条例の一部改正.....(全員賛成)
- 住宅新築資金等貸付事業基金の設置及び管理に関する条例廃止.....(全員賛成)
- 平成22年度一般会計補正予算（第8号）.....(賛成多数)
- 平成22年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）.....(全員賛成)
- 平成22年度農業公園事業特別会計補正予算（第2号）.....(全員賛成)
- 平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）.....(全員賛成)
- 平成22年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）.....(全員賛成)
- 平成23年度一般会計予算.....(賛成少數)
- 平成23年度農業公園事業特別会計予算.....(全員賛成)
- 平成23年度農業集落排水事業特別会計予算.....(全員賛成)
- 平成23年度下水道事業特別会計予算.....(全員賛成)
- 平成23年度水道事業会計予算.....(全員賛成)

委員会での主な質疑

平成23年度一般会計予算

Q 木造住宅耐震診断事業、木造住宅耐震補強費補助事業、木造住宅耐震設計費補助事業の3つの事業内容説明を求める。



木造住宅（記事とは関係ありません）

A 木造住宅耐震診断事業は、木造住宅の安全確保を維持するために、無料で木造住宅の耐震診断をする。木造住宅耐震補強費補助事業は、先ほど説明した無料診断を受けた方で、耐震の確保ができるない方に対しての国・県・市の補助事業である。木造住宅耐震設計費補助事業は、木造住宅耐震補強工事をする方に対しての設計費補助金である。

Q 平成23年度から新設する獣害ブランド対策室の説明と職員形態など何人体制で行なうのか。

また、緊急雇用創出事業を活用して、追い払い事業をするということだが、緊急雇用創出事業は、6ヶ月雇用で1回の延長があるということ。そうすると2名で追い払いを行なうことから1番少なければ2名が1年間雇用ということになるし、多ければ4名になるということ。



A 獣害対策と市のブランド事業ということで、新年度から重点的に取り組むために、別に室を設けて予算計上をしている。職員形態は人事異動もあるので予想ではあるが、課長と職員3名で内2名は臨時職員というのは確定している。

緊急雇用創出事業で2名の雇用。半年後に継続すれば1年間で2名になる。半年で交代すれば4名の予定をしている。

一般会計予算の訂正議案が可決

平成23年第1回定例会議において、開会日に提案された一般会計予算案が、一般質問を終えた段階で一部削除訂正された。審議中であった観光協会への事務事業委託料300万円を削除するという内容である。

この予算についての一般質問時に委託先がまだ発足していないことや、入札の検討もされていないことを指摘されていたものである。

平成23年度一般会計予算の編成替えを求める動議

提出者 いなべ市議会議員 奥岡 征士
賛成者 いなべ市議会議員 伊藤 正俊
賛成者 いなべ市議会議員 清水 実

議案第20号「平成23年度いなべ市一般会計予算」の編成を次のとおり替えることを求める。歳出の（款）民生費、（項）社会福祉費、（目）老人福祉費の中の、介護予防にこやかコース事業費29,204千円および（款）衛生費、（項）保健衛生費、（目）健康推進費の中の、健康増進事業委託料28,444千円の措置を撤回し、これに代わり地域の活性化のために供する事業費を歳出に充当することを求める。

【提出趣旨】

老後生活を元気で楽しく過ごし、結果として医療費の高騰抑制する目的で、平成17年度から導入してき

た介護予防、健康推進事業であるが、総額は約4億円を超える大金である。その事業を公正な実績評価もないまま、数字のマジックで市民を翻弄するなど毎年度の自前の事業評価は「A」評価されている。市民満足度の実感も乏しく、医療費の高騰を招いている現況にある。さらに昨年は国民健康保険料の改定を余儀なくされた。かかる厳しい財政状況の中で6,000万円もの予算を特定団体に事業委託することは許されない。これに代わる市民の健康づくりに供する事業や地域の獣害対策をはじめ環境作りなど自主的、多角的に検討し、その事業費に充当することを求める。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対が分かれた案件

～下記以外の25案件は全員賛成で可決しました～

議長 水貝一道は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）

議案名	付託委員会	審議結果	会派			新政いなべ			政友クラブ			政和会			いなべ市議団	日本共産党	アクティビーなべ	自由改革クラブ	藤の会	市民の会
			小林昌彦	岡英昭	位田まさ子	種村正巳	伊藤弘美	林正男	太田政俊	小林俊彦	鈴木順子	水貝一道	多湖克典	川瀬利夫	水谷治喜	衣笠民子	石原瞭	奥岡征士	小川克己	伊藤正俊
平成23年度一般会計予算の編成替えを求める動議	委員会付託省略	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	○	○	×	×	○	×	○	○
平成23年度一般会計予算	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	×	×	×	○	×	×
平成23年度水道事業会計予算	産	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の両方の討論があった議案は次のとあります。

●平成23年度一般会計予算編成替えを求める動議

(賛成少数 否決)

市長から提出された予算内容の変更を議員から提出するものです。(奥岡 征士 議員 提出)

反対討論①

岡 英昭 議員

「予算編成替えを求める趣旨こそ 言葉のマジック」

動議の趣旨にある「にこやかコース事業」を数字のマジックで市民を翻弄しているというが、それが本当であるなら正しく種明かししていただきたい。この事業の導入は平成17年12月に政府与党の医療改革協議会が発表した医療制度改革大綱で生活習慣病の一次予防としての病気患者の減少こそが重要だとした。介護予防事業は1年や2年ですぐに効果が出るものでもないが、その生活習慣病の10万人に対する死者数の統計で県平均230.1人に対し、いなべ市は217.4人と県平均よりぐっと減少してきている。また介護予防事業経費も平成23年度予算では2,920万円と毎年削減してきており、住民意識調査においても「元気体操を毎日続けていきたい」と市民に定着しつつある。予算の編成替えを求める趣旨こそ「言葉のマジック」であり、それに反対し私の討論とする。

賛成討論

清水 実 議員

「もっと市民にとって必要な事業に 予算配分を行わべきだ」

賛成者の1人として今、獣害対策事業が市民にとって、いかに大事かという点を再認識してもらい、大幅な予算増額を期待して賛成討論とする。

日本公衆衛生雑誌より抜粋

【背景】三重県いなべ市では地方行政と地域住民団体等が垣根を越え協力し、健康増進と介護予防対策「元気づくりシステム」を構築し運用している。具体的には事業参加者の運動習慣調査（アンケート）、医療費（国保レセプト）分析をした。

【結果】運動習慣調査（「元気づくり体験」自己ヘルスチェック年次アンケート実施）：平成20年度事業参加者538名中、1週間に1～2回以上運動習慣実施割合は67%であり全国国民健康栄養調査25%～41%と比較すると高い運動習慣が伺えた。医療費調査（いなべ市国保レセプト分析）：平成20年度事業参加者588名と事業不参加4,956名（国保の自宅生活者）と事業参加者かつクラブ会員122名で分析した。医療費抑制効果：平成20年度一人当たり年間医療費は事業参加者213,272円と不参加者291,518円で比較し78,246円削減額での抑制効果がみられた。クラブ会員は198,321円で不参加者と比較し93,197円削減額での抑制効果がみられた。平成20年度事業参加実人数712名での年間医療費抑制効果は55,711,152円と確認できた。（平成21年度事業参加者実人数約1,000名）

反対討論②

位田 まさ子 議員

「健康増進事業の効果が ようやく出てきたのではないか」

健康増進事業は大安町で生まれ、私たちが大切に育ててきた事業で、今ようやく花が開きかけたところである。今辞めては何のために今まで頑張ってきたのか分からぬ。このまま続けてほしいので動議には反対する。

●平成23年度一般会計予算

(賛成多数 可決)

平成23年度の歳入（収入）・歳出（支出）の予定を、計画するものです。

反対討論①

水谷 治喜 議員

「ありがとう券印刷、商工会イベント 補助金の上乗せには反対だ」

我々政和会は、一般質問でも述べたとおりボランティアありがとう券の取り扱いについて十分な説明を受けたとは思わない。産業建設常任委員会での答弁も同様であった。

商工会へのイベント補助金100万円の上乗せの根拠もなく認められないので、十分な試算根拠を示して提案するべきである。

金券のばらまきを行うような施策には到底賛成できない。このような税金の使い方をするぐらいなら、東北関東大震災への義援金に回したらどうか。

観光協会への委託料についても、当初予算からは削除されたものの、十分に精査されていない予算計上をしていることが問題と考える。

よってボランティアありがとう券の印刷費用10万円、商工会へのイベント補助金100万円が含まれる平成23年度一般会計予算には反対する。

賛成討論①

小川 克己 議員

「市民が要望する重要な課題に対して 積極的な市政運営だ」

景気の低迷が続き、税収入の回復が見込めず苦しい財政状況の中ではあるが、平成23年度当初予算案においては、重要な課題に対し積極的な行政運営を進めていく姿勢を強く感じ取ることができる。

先般の東北地方における大震災では、多数の尊い命が奪われるとともに、多くの建物が崩壊した。いなべ市においても公共施設の耐震化が急がれている。特に耐震化がされていない「員弁東小学校」「笠間地区の保育園」「大安中学校」については早期の建替えが急務であり、そのため合併特例債を活用するなど、積極的な投資予算としたことは評価するものである。

また、安心安全のまちづくりのため、災害対策、地域・高齢者・障害者などへの福祉、道路網の整備、学校給食設備、地域ネットワーク、子育て対策、情報化の推進等々にも充実した予算が配分されている。さらに、遊休財産の処分や経費節減のための効率化等も図られており、現在のいなべ市の状況に沿った予算が計上されている。

また、議論がされた「ありがとう券」であるが、昨今「ありがとう」の感謝の心が薄れているのではないかと言われている。"ありがとう"という感謝の心の輪を広げて行くには適切な施策と思うのである。以上の観点から適切な予算執行を願って賛成討論とする。

反対討論②

石原 瞳 議員

「市民の安全・健康・くらしを守る 視点に立って市政運営を」

予算には強い市民の願いによって実現した積極面もある。一つは中学校給食が2学期から北勢中、員弁中で実現し、いなべ市の全中学校で実現すること。また、子どもの医療費無料化で三重県の基準を超えて、入院のみ中学卒業まで延長された。これらの点は大いに評価したい。

しかし、個人住民税が12%も下がることが予想されている。その背景には不況が小規模業者を直撃し、失業者の増加、労働者の賃下げで市民のくらしが大変な現実がある。自治体の役割は、市民の安全・健康・くらしを守ること。市は予算説明資料で税収はどうなるかを見ているが、市民のくらしを守るためにどうするのかという踏み込みがない。それどころか、青川峡の施設建設に1億3千万円もかける予算になっている。

「交流人口を増やし、定住人口へ」というより、今住んでいる市民のくらしをどうするか。市内の小規模業者への支援で地域経済を活性化するため提案した住宅リフォーム制度なども、はじめに検討することを求める。

いなべ市でも東日本のような、大きな災害に合わないとは言い切れない。災害に強いまちづくりは、普段から強い医療や福祉の基盤が必要だ。そのためにも、一層いなべ市民の安全・健康・くらしを守るためにどうするのかという視点に立った市政になることを求めて反対討論とする。



老朽化した大安中学校

いなべ市議会だより

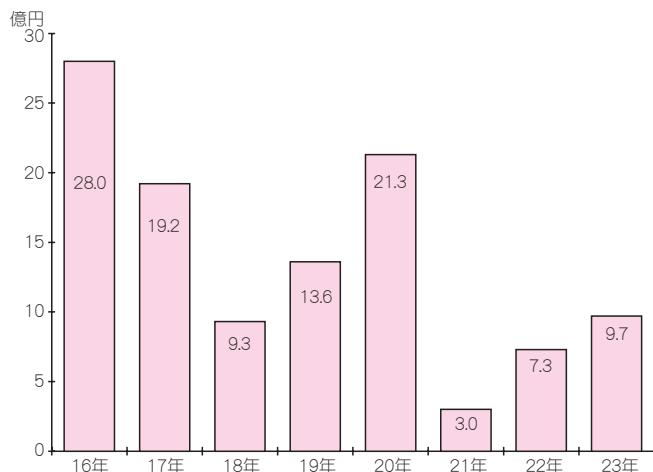
賛成討論②

岡 英昭 議員

「合併特例債を活用し、 将来を見据えた投資に感謝する」

国家予算の成立見通しの立たない中、また地方自治体、国民生活に影響を及ぼす子ども手当法案、特例公債法案など予算関連法案の成立が絶望視される中、平成23年度予算編成にあたった執行部の皆さんへの努力には大変なものがあったんだろうと推測する。市長の施政方針にある「安心の標」として防災対策に力点をおいた災害に強いまちづくり予算や残り3年と迫る合併特例債を積極的活用し、将来を見据えた投資を主眼としている。また、各部が連携して特に教育、福祉分野に重点配分した予算を昼夜問わず編成したことに謝辞を表し、本予算に対する私の賛成討論とする。

合併特例債予算額の推移



反対討論③

清水 実 議員

「職員は市民や議員の声に もっと耳を傾けるべきだ」

市民の健康に悪影響があるP C Bやダイオキシン問題には触れず、市長の問責決議が可決されても反省は見られない。

土地開発公社の理事長兼務が民法108条の双方代理違反になり、国や県から指導があっても問題がないと答弁し、平成16年度の最高裁の判決すら無視する始末である。

副市長にあっては、国から派遣され、国の高いマネジメントを移すべき役割を担いながら、その実体は東京出張での交通費に関して住民監査請求を突きつけられた。

教育部長の寒桃に対する姿勢は現場や学者を無視し、農林商工部次長はナラ枯れについても市民からの声がないと捨て置き、鈴鹿・養老山系のパトロールを問えば、地図で十分確認できるという農林商工部長の答弁を考えた時、市民や議員の声を聞く態度がなく、公務員として基本的な行政義務すら果たしていない。よって、信用、信頼性に乏しい予算には賛成できない。

賛成討論③

伊藤 弘美 議員

「速やかに予算を議決して 市政運営に配慮すべきだ」

反対者の討論を聞くと、一部分の予算項目に反対で当初予算180億6,700万円が否決されれば4月からの市政の予算執行が停止する。そうなれば市民の怒りが爆発し、収まりがつかない大変な事態になると思うのである。速やかに予算を議決して市政運営に配慮するのが議会議員の当然の役目であり賛成討論を行う。

景気回復が見込めない現在、市内の各企業の操業は間欠運転のために業績が伸びず、法人、個人とも市民税が減少し、固定資産税、鉱山税の減少等で市税収入の合計が71億4,000万円で3年前と比較して25億円の減少である。

職員の努力で備品や消耗品の経費削減をはじめ、無駄排除、限りなき節約で計上された当初予算である。これは市民の期待に応える予算で、子育て支援、高齢者福祉、教育施設整備、これは合併特例債の活用期間内に校舎の建替えや整備を完了させるものである。

本年度は『健康こども部』を新設して若者男女の出会いを紹介して結婚活動を支援。また、『都市整備部』を独立させて企業誘致、ならびに公有遊休地の住宅開発を進めて若者をいなべ市に定住化を促進する活動等、期待の大きい予算と評価する。さらに『地産地消』いなべ市農産物の被害を食い止める獣害対策を強化し、農家を手厚く支援して、いなべのブランド創出に期待して賛成討論とする。

代表質問

会派代表者が「市長の施政方針」 に対してただす

3月3日に会派代表者5人の議員が平成23年度施政方針に基づいた代表質問を行いました。

なお、代表質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

いなべ市議会 会派一覧表

(3月末現在)

	会派名	議員数	代表者	所 属 議 員		
1	新政いなべ	7	太田政俊	太田政俊	林正男	伊藤弘美
				種村正巳	岡英昭	位田まさ子
				小林昌彦		
2	政友クラブ	3	水貝一道	水貝一道	小林俊彦	鈴木順子
3	政和会	3	水谷治喜	水谷治喜	川瀬利夫	多湖克典
4	日本共産党いなべ市議団	2	石原瞭	石原瞭	衣笠民子	
5	アクティブいなべ	1	奥岡征士	奥岡征士		
6	自由改革クラブ	1	小川克己	小川克己		
7	藤の会	1	伊藤正俊	伊藤正俊		
8	市民の会	1	清水実	清水実		

会派とは

同じ政策をもつ議員集団をいいます。会派制度の長所としては、会派内で議論を行うため、議員の資質向上に役立つことや能率的な議会運営ができます。

なお、いなべ市議会では平成22年4月から会派所属人数に月額3万円を乗じた金額を政務調査費として申請した会派に交付しています。

いなべ市議会だより



新政いなべ
太田 政俊

あじさいクリーンセンターの大規模改修か 建て替えかの検査時期はいつか

【質問 1】積極的な予算編成には評価するが、市長の思いつきの予算計上があるのではないか。

【市長】市税収入は減少したが、合併特例債の借入期限があと3年と迫っていることから、耐震化されていない学校、保育園の建設など積極的な投資予算とした。子ども手当・生活保護受給者の増加など扶助費が大きく伸びたことが主な要因で、実質上の予算規模は前年度と同様である。

【質問 2】公有遊休地の活用は、若者の定着を願い、公有地を安価に提供できれば若者に喜ばれる施策であると評価する。その他にも何か構想はあるのか。

【市長】土地開発公社を利用して簡易な開発を行い、若者の誘致と公有地の活性化を図る。将来は空き家や不要な土地を寄付行為など市が安価で購入して、安価での賃貸を考えている。

【質問 3】財政の厳しい中、農業公園整備基金2億5,900万円を一般会計に繰り入れるべきではないのか。特別会計基金は、いくつかの問題提起がある中、いわゆる埋蔵金と称されている。すべて一般会計に戻すべきだと考えるが。

【市長】農業公園整備基金については、過去の町を尊重した形で運営しているので、一般会計に繰り入れるつもりはない。

【質問 4】沿線市町から10年間の運営補助金が終了に近づく三岐鉄道北勢線だが今後の方針は。北勢線運営協議会で結論を出し、市民に判断を仰ぐべきと考える。

【市長】三岐鉄道北勢線のハード整備事業は終了したが、平成25年度以降は補助金無しでは三岐鉄道の存続は不可能。何らかの補助が必要だと思っている。



三岐鉄道北勢線

【質問 5】耐用年数15年を目指す補修・改善を加え、延命を図ってきたあじさいクリーンセンターだが、大規模改修をするための検査時期はいつか。

【市民部長】検査時期は単年度では不可能である。今後、協議をして進め、建て替えか大規模改修かの再協議が必要である。



あじさいクリーンセンター

早急に社会福祉協議会の会長職を辞任するべきだ



政和会
水谷治喜

【質問1】昨年より、約1年間にわたり社会福祉協議会の会長を「次期会長が決まるまでの一時的な就任」という、取って付けたような理由で兼務しているが、市長を辞職して社会福祉協議会会长に専念するか、早急に社会福祉協議会会长を辞職し、適当な方に就任していただかなければいけないのか。補助金を支出する側と受け入れる側のトップが同じ人物であることは、行政としておかしいのではないのか。

【市長】社会福祉協議会の組織がしっかりとるまで会長を兼務する。



合併後10年以内に市内の水道料金統一となっているが



いなべ市社会福祉協議会本所（大安庁舎の横）

【質問2】水道料金の市内統一化の計画案を市民に提示すべきである。

【水道部長】今後、10年以内の統一ということで平成25年を目指して統一する。

【市長】水道料金は合併協定で合併後10年以内に統一する。現在、水道料金の値上げは検討していないが今後の課題である。平成25年12月には藤原町の料金は確実に上がる。

【質問3】今回、施政方針に明記されている「元気づくり体験に参加された方は、昨年、延べ人数で3万人を超え、元気づくりが着実に広がっている。しかも、元気づくりに参加している方の医療費は、一般の方に比べ30%も低くなっていることがわかった。これは国民健康保険に加入する5,500人を対象に調査したもので、「体験教室に参加した600人の医療費は参加しなかった方よりも約8万円も少なかった」という結果になっているが、延べ人数ではなく、実人数、30%減、8万円減の根拠と算出方法は。

【福祉部長】実人数は1,030人程度である。日本公衆衛生雑誌の数字を引用した。あくまでも客観的な数字である。

【再質問】事業内容からして、このような客観的数字を事業の正当性を誇張するような形で施政方針や新聞発表等に使用すべきでないと思うがどうか。

【市長】客観的な数字で福祉部長の答弁どおりである。



政友クラブ
小林俊彦

公有地開発と若者を定住させる 具体的な施策はあるのか

【質問 1】公有地開発と若者の定住の具体的な施策と転入者の職の斡旋は。

【市長】土地開発公社理事会において承認された松ノ木地区内を予定している。一区画あたりの面積は不動産人気の40~50坪程度。いなべ市は昼間人口が夜間人口を上回っており、いなべ市に働きに来る人が多い。住宅があれば市内に定住する人口が増加する。



公有遊休地開発候補地（員弁町松ノ木地区）

【質問 2】誰もが、何処でも、毎日出すゴミは大量生産・大量消費・大量廃棄という浪費社会の象徴である。ゴミの減量化と再利用は。

【市長】粗大ゴミは、民間の無料回収を利用している人が多い。粗大ゴミ置き場に入ってくる家具・電気製品は、再利用できる状態でないものが多い。リデュース・リユース・リサイクルを基本にごみ減量化を図っていく。

【市民部長】平成19年4月より市内一円で分別収集を始めた。現状では問題ないと考えているが、可燃ごみの中には、プラスチック・古紙が混入している。更なる分別の徹底とごみ減量を啓発していく。

【質問 3】市内36カ所の「元気クラブ」会員が元気リーダーを中心に健康体操を実施しているが、参加者はいつも同じ人である。男性の参加者も少ないように思われるが、多くの方が参加できる対策は。

【市長】女性の人のほうが積極的である。興味のある人が参加して生活習慣の中に運動を取り入れて地域のふれあい「全国健康サミット」などで体操をしてもらった。これを観光資源にできたらと思っている。

【福祉部長】男性の参加者が少ないので、元気体操だけではない。ふれあいなどの行事の参加も少ない。社会福祉協議会とも対策を協議していきたい。



大安町平石元気クラブ

【質問 4】「空き家バンク」制度を知らない市民が大勢いると思われる。どのように市民にPRしていくのか。空き家になっていても下水道が未接続の場合もある。

【市長】家が大きすぎて安価では借りられないと思う人もいる。少人数ではもったいないなどの理由で田舎向きの家は好まれない。不在地主などから安価で譲渡してもらうか、寄付をしていただけたら下水道を整備して貸し出すこともできる。

市民のくらしが大変な時期だが、今後どう支援していくのか



日本共産党いなべ市議団
石原 瞭

【質問】個人市民税の約12%減少から、市民のくらしをどう見るか。市民を直接支援することが求められている。市民のくらしを応援する施策の実現を。

今回、子どもの医療費無料化を入院のみ中学校卒業まで延長したことは評価するが、通院や窓口無料も実施せよ。

学校の建て替えを機に、小・中学校の教室にエアコンの設置をせよ。

ゴミ処理で員弁町分は、桑名広域清掃のRDF化で高い処理費を払っているが、今年実施しようとする、あじさいクリーンセンターの機能調査の結果によれば、員弁町分も含めたゴミ処理方法の統一を図れ。

市営住宅への入居希望者や空き部屋の問い合わせが増加している。市営住宅はどうするのか。

【市長】個人市民税は確かに減少している。その背景には、生活保護者の増加や国民健康保険料の所得割が減っているように、市民全体の所得が減少しているというのが背景だと思っている。国の経済対策も利用しながら、自治会からの要望も含めて小さな公共事業が発注できるようになったらと思っている。

15歳までの入院分の医療費無料化を実施したが、財政を伴うものだから通院分は三重県での議論を深めていきたい。

市税収入当初予算の状況

(単位：千円、%)

区分	平成23年度		平成22年度		比較		市民1人あたり負担額(円)	
	予算額A	構成比	予算額B	構成比	増減A-B	伸び率(A-B)/B		
市民税	2,256,425	31.6	2,408,601	33.0	△ 152,176	△ 6.3	48,416	
	個人	1,986,931	27.8	2,256,270	30.9	△ 269,339	△ 11.9	42,633
	法人	269,494	3.8	152,331	2.1	117,163	76.9	5,783
固定資産税	4,529,419	63.4	4,574,228	62.6	△ 44,809	△ 1.0	97,187	
軽自動車税	107,367	1.5	103,445	1.4	3,922	3.8	2,304	
市たばこ税	240,000	3.4	212,016	2.9	27,984	13.2	5,150	
鉱産税	7,200	0.1	6,972	0.1	228	3.3	154	
入湯税	1	0.0	1	0.0	0	0.0	0	
合計	7,140,412	100.0	7,305,263	100.0	△164,851	△2.3	153,211	

個人市民税が対前年比で11.9%減の当初予算である

エアコン設置より、合併特例債で校舎の耐震化をするのが精一杯の状況であろうと思っている。これ以上の支出は、いなべ市の身の丈にあっていない。

あじさいクリーンセンターを長寿命化することが可能かどうかの精密検査を実施する。検査の結果、大規模改修することにより、向こう15年間ゴミ処理機能が担保されるのであれば、桑名広域清掃との議論になる。長寿命化が不可能だということになれば単独で焼却炉を持つのか、それとも桑名広域清掃と歩調をあわせるのかという選択になってくる。

市営住宅を新たに建設するという予定はない。空き家を市が所有し市営住宅化したい。

【再質問】今、市民のくらしが大変な状況になっている。こんな時期だからこそ、いなべ市民のくらしをどう支援していくのか真剣に考えてほしい。



桑名広域清掃事業組合

注) 市民1人あたり負担額は平成23年度の数値です。(人口は、H23.1.1現在総人口46,605人)
表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。



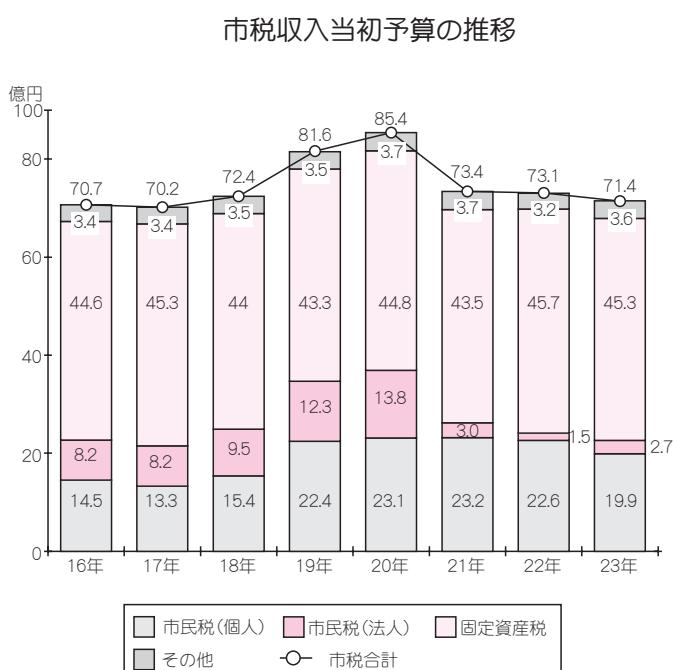
藤の会
伊 藤 正 俊

平成23年度予算は今秋の市長選挙目当てのお手盛り予算か

【質問1】全会計の借入金（借金）残高は、平成19年度末で約430億円、市民一人当たりの借金は約91万円を超えて、三重県の市の中では最悪の状況である。平成21年度の市税収入は、平成19年度と比較して緊急事態で深刻な財源不足であり、当初予算を166億円とした財政は危機的な状況であった。平成22年度の当初予算168億円は身の丈にあった予算としているが、法人市民税がピーク時の約10分の1で財政が逼迫し、3年後には交付税（国が市にくれるお金）の算定替えが終了し、毎年約10億円減ることが予想され、厳しい財政状況が続くと予想する。

平成23年度の市税収入は前年比約2億円減の71億円、当初予算181億円で昨年度に比べて市税収入が減っているが、当初予算総額は13億円の増額となっているが、これらの見解に間違いはない。

【市長】ほぼ間違いありません。



法人市民税がピーク時の平成20年度13.8億円に対して平成23年度は2.7億円の当初予算である。

【質問2】平成23年度当初予算は過去の施政方針と矛盾する。秋の市長選挙目当てのお手盛り予算か。

【市長】そうではない。

【質問3】深刻な財政不足として昨年は多くの公共料金の値上げをしたが、財政状況の説明は公共料金値上げのための方便だったのか。

【市長】特別会計は独立会計のため、収入増を図り一般会計からの繰出金を減らすために値上げをした。

【質問4】合併特例債は借入金（借金）であるが、将来の財政圧迫要因の一つにならないのか。

【市長】破綻した自治体もあるので気をつけている。

【質問5】児童野外活動施設と藤原岳自然科学館の機能移転について、行政改革推進委員会から「施設の維持管理が大きな財政負担となっている。安定した行財政運営を行うためには早急に公共施設の統廃合が求められる」との答申に鑑みて質問をする。

文化センター全体を野外活動センターとしたらどうか。蟹江町はいなべ市にあった児童野外施設を昨年取り壊し更地にした。なぜ、厳しい財政状況で1億円を越える施設を青川峡に造るのか。

【市長】多くの人が訪れて利用するから。



青川峡キャンピングパーク

一般質問

あなたの声を市政に

3月7日、9日に10人の議員が一般質問を行いました。

なお、一般質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

- 1.医療費抑制のため「セルフメディケーション」の啓蒙を
- 2.教師が安心して本来の教育を取り組める環境を
- 3.電子黒板の教育的効果は
- 4.市役所機能の効率化を図る総合庁舎方式の方策は



岡 英昭

【質問1】 薬事法の改正で安易に医療機関にかかる一般用医薬品の適切な使用を促すために販売制度が見直された。身近な薬局等で大衆薬を利用する「セルフメディケーション」の趣旨を啓蒙し、医療費の抑制を図るべきでは。

【福祉部長】 薬局等と話し合い、一般用医薬品の効能とリスクを十分示して広報誌で啓蒙し市民への利用促進を図りたい。

【質問2】 学校に理不尽な要求を行う「モンスター・ペアレント」が社会問題化し、教師が精神的に追い詰められ休職、退職に至る状況がある。その対策を問う。

【教育長】 保護者からの苦情や不満要求は昨年91件あった。内容を整理して顧問弁護士や関係機関と連携し対応する。今後法的なマニュアル、訴訟保険等の研究も行う。

【質問3】 昨年度1,167万円を計上し、藤原中にはモデル校として各クラス、他の小中学校へ1台ずつ電子黒板を導入したが、その教育的効果の検証は。

【教育部長】 児童生徒から授業が楽しくなった等と好評であり、授業以外にも学校行事、PTA会議等で使用している。活用する教員の力量を高める実践的な交流や共有化を図り研修実績を高めていく。

【質問4】 市民から市役所が4庁舎に分かれており不便との声が多くある。業務の効率化を図るためにも総合庁舎化を求める。

【市長】 大安ジャスコ2階等大型店舗を安価で借用できれば総合庁舎化の可能性がある。



電子黒板を用いての授業



新政いなべ
伊 藤 弘 美

1. アナログ放送から地上デジタル放送への切り替え準備は
2. イノシシ・シカ・サルを捕獲する『わな免許』の取得支援を

【質問 1】 7月24日を以って地上デジタル放送へ切り替わる。①市民のデジタル放送へ切り替え進捗率は。②高齢者家庭へのチューナーの貸出し対応は。③CTYからアナログテレビへデジタル放送ができないか。

【企画部長】 ①95.6%の家庭がデジタル契約をしている。②チューナーの貸出制度は県内他市町でもしていない。③7月24日以降、CTYはアナログ波の送信はしない方針である。

【質問 2】 イノシシ・シカ・サルによる農作物被害を防ぐために箱わなで捕獲するが、『わな免許』の取得を補助して、講習会及び試験日を市民に周知して一丸となって獣害対策に取り組んだらどうか。



新政いなべ
種 村 正 巳

災害に強いまちづくりをどう進めていくのか

【質問】 日本近海の巨大地震が懸念され、いなべ市では、津波の被害は想定されないが活断層による内陸直下型地震で、溜池や急傾斜地を有する地形から洪水や土石流の発生が危険視される。防災対策の現状は。また、災害に強いまちづくりをどう進めていくのか。

【総務部長】 ①災害対策本部は市長を本部長とする体制で実施。②市消防団との連携は即時対応できる。③桑名市消防本部との協定は、平成23年度から10人体制の指揮隊が設置され、員弁方面の消防救急救命活動が充実される。年間5億6,898万円の委託費。④桑員地域での災害には平成19年から協定。⑤複合的な災害発生には各庁舎で担当部課を中心組織体制。⑥各地域との連携は自治会を中心にお願いしている。⑦常時、備蓄は1,700人の3日分の水・食料・

【農林商工部長】 狩猟免許の性質上、趣味の人もあり、有害鳥獣対策者との区別が難しい。免許取得の補助は現在ないが、地域からの要望があれば獣害対策の更なる推進として、県と協同で実施の方向で検討する。

講習会及び試験日の周知については、広報誌及びホームページに掲載する。

【再質問】 箱わなで獣害を防ごうと捕獲報酬に加え、鉄工業者が作った箱わなを無償で農家の希望者に貸与し獣害対策に取り組んでいる他市町があるが、いなべ市も必要と考えるが行政の判断は。

【市長】 現在、箱わなの補助制度はない。予算内が補正予算が必要か検討したい。

【農林商工部長】 農地・水・環境対策費補助金で購入していただきたい。



わなで捕獲した
イノシシ

必需品を備えている。ボランティアの受入れは8市と協定あり。⑧広域災害は自衛隊の要請も想定。⑨いなべ市医師会と災害協定あり。⑩障害者施設等との連携は今後検討。自主防災組織が81団体あり119団体すべて組織化を進める。山岳救助依頼が毎年数件あり救助訓練を充実。救急救命訓練は消防団員に徹底。団員確保には事業所職員の入団に理解を求める。市民への啓発は防災マップを改訂しながら市民活動センターを中心に防災意識の向上に努める。



東日本大震災（岩手県大船渡市）

1. うつ病対策は
2. 障がい者雇用の促進を
3. 発達障害者の地域支援体制の充実を
4. リバースモーゲージを取り入れてはどうか



政友クラブ
鈴木順子

【質問1】 自殺の原因となる「うつ病」対策として、「メンタルパートナーの養成」を県は本年度から始めるが、本市はどのように考えているのか。

【福祉部長】 うつ病は医療だけではなく、人のサポートが重要。知識の普及を図るために積極的に取り組む。

【質問2】 障がい者の雇用を促進するため、移行支援・ジョブコーチの養成の必要性について。

【福祉部長】 就労を促進するため、商工会・企業に働きかけ、就労の場づくりに努力する。ジョブコーチについては、県の研修に参加して障がい者の就労に結びつくよう考えている。

【質問3】 発達障害児を育てた親たちが、同じ障がいのある子を持つ若い親たちを支える「ペアレンツメントセンター」養成を、いなべ市でも取り入れてはどうか。

【福祉部長】 軽度の発達障がい児に対する施策を充実していく必要があるが一足飛びにはいかない。県の養成講座をきっかけに進めていきたい。

【質問4】 高齢者の自立・自助を支援するために、住宅資産を有効活用する「リバースモーゲージ」を取り入れてはどうか。

【福祉部長】 三重県社協が実施している。いなべ市で実施する時、リスクを誰が負うかが課題であるが、制度設計を策定して実施していきたい。



1. ボランティアありがとう券の利用方法と明確な予算算出根拠があるのか
2. 公有遊休地の利用方法は
3. 福祉バスへ移行した1年間の成果を問う



政和会
川瀬利夫

【質問】 ①ありがとう券の利用方法、また今年度予算が新聞発表で110万円とあるが根拠は。②(株)サラダコスモ誘致で現在の進捗状況、また造成後の賃借料は。③福祉バス運行で今年1年の成果、また停留所の変更および増設を考えているのか。

【市長】 ①社協に登録しているボランティア団体に配り、協力店に券を出すとサービスが受けられる。費用の券印刷代10万円は、イベント補助金として600万円に含まれている。

【まちづくり部次長】 ②(株)サラダコスモに関しては、賃借料の交渉段階には至っていない。③利用者は平成21年に比べ1.6倍に増加し、停留所は4月に一部増設の予定である。

【再質問】 ①今回の案は、税金のばらまきのように思える。1枚当たりの事務経費は社会福祉協議会および商工会にどれだけ必要と考えているのか。③停留所は市民が税金を払っている以上、原則として全自治会に設けるべきだと考える。また、白ナンバーのバスの利点を利用して市内のイベント等で使用しては。

【市長】 ①券1枚が100円程度で2,000枚配るだけなので経費・労力については、ほとんど必要ないと考える。③イベントでの利用については、良い案だと思うので主催者側にも検討してもらいたい。

【再々質問】 ①金額の問題ではない。市民にはつきり説明できないものを予算計上するべきではない。



(株)サラダコスモ誘致予定地

いなべ市議会だより

一般質問



政和会

多 湖 克 典

1. 観光協会の設立を問う
2. 心の病気の原因追及を行なっているのか
3. 肝炎患者への対応は
4. 大安ジャスコの2階を庁舎として利用するのか

【質問 1】 ①観光協会の運営と事業計画は。②今までの事業の取り扱い。③これから増える事業。④組織はどのようになるのか。会員には誰でもなれるのか。規約を公開してほしい。

【農林商工部長】 会長や役員は決定していない。事業内容もこれから決めていく。

【再質問】 事業委託料というものは、事業内容が決まっており、事業を委託される側も事業実現可能な団体であることは当然だと思うが、代表者すら決まっている発足もしていない団体に対してどうやって事業委託をするのか。入札にするべきではないのか。当初予算からは削除し、改めて納得いく事業内容を示した後に補正予算で計上するべきだ。



日本共産党いなべ市議団

衣 笠 民 子

1. 賞賛金交付適正化の検証
2. 予防重視のいなべ市に
3. いなべ市の保育所、保育園の現状と「子ども・子育て新システム」の問題点を問う
4. 即効性のある地域景気対策「住宅リフォーム助成制度」の実施を

【質問 1】 ①いなべ総合学園野球部の甲子園出場に対する400万円は、スポーツ競技全国大会出場賞賛金交付要綱に則った支出か。②文化芸術活動に対する賞賛金の考えは。

【市長】 ①要綱の例外条項を適用と考える。

【教育部長】 ②考えていない。

【質問 2】 ①子どものインフルエンザ予防接種費用に助成を。②高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用に助成を。

【市長】 ①②国家として取り組むべき。国に強く働きかけていきたい。

【質問 2】 職員、教職員の中に心の病気を患っている方が多いと聞くが、この状況の対応と原因追求はどうのに行っているのか。

【総務部長】 メンタルヘルスチェックを行っている。

【質問 3】 肝炎対策基本法に地方公共団体の責務があるが、どのような対応をしているのか。

【福祉部長】 治療の補助は特に対策していない。

【質問 4】 大安ジャスコの2階を庁舎として使用するという案は本当なのか。

【市長】 今のところ話は進んでいない。



ジャスコ大安店

【質問 3】 ①保育士の年齢、経験年数のバランスのとれた現場にすべき。採用計画は。②市の正規職と社会福祉協議会の正規職保育士との待遇の違いは。

【市長】 ①市では保育士を採用しない。将来的には公立保育所を社会福祉協議会の保育所に換え、保育士も社会福祉協議会保育士に置き換えていく。②社会福祉協議会の給与体系が統一されておらず比較できないようにしていきたい。

【質問 4】 全国約180自治体で取り組まれている「住宅リフォーム助成制度」の実施を。

【副市長】 現在行っている耐震、介護のリフォーム助成も6割は地元業者に発注。景気対策になっている。提案の「住宅リフォーム助成制度」の実施は考えていない。研究はしたい。



本年度から社会福祉協議会に民営化された山郷保育所

1. 土地開発公社の理事長にいつまで居座るのか
2. 寒桃を天然記念物にするのかしないのか



市民の会
清水 実

【質問 1】 市長が理事長を兼ねることは、「公有地拡大の推進に関する法律」に違反し、双方代理の点に抵触する。また、知事に対して地方自治法ならびに関係法令、通達に基づき適切な運用をすると約束しながら守っていない。民法108条の双方代理を禁止している条項に抵触するがどうか。

【市長】 確約書に基づいて、市長が理事長をすることになっている。

【副市長】 地方分権一括法案により、首長に決定することを妨げないと解する。

【まちづくり部長】 市長が理事長をすることと、合併特例債とは因果関係がなく問題はない。また、民法108条にも抵触しない。

【質問 2】 ①「寒桃」を天然記念物に指定したく、申請が昨年4月に出された。行政義務を果たすことなく、無責任な状態で放置した責任を問う。②現地調査をしたのかどうか。京大の植物分類の権威である村田源先生が視察に来られたことを知っていたのか。③天然記念物に指定するのか。

【教育部長】 治田村誌によると、約300年前に桃の木谷に移植された物であり、指定基準に該当せず、審議会にかける必要がなかった。村田源先生のことは知らないかった。

【教育長】 辻氏が熱心に保護していただいていることは深く感謝し、大切にしてほしい。



寒桃

1. 情報の活用で経費削減を
2. 自治会の自立について方針があるのか
3. 水源を守る治山事業を
4. 医療費削減とレセプト分析を問う



アクティイいなべ
奥岡 征士

【質問 1】 「ホームページ」や「いなべ10」の活用で行政経費の削減はできないのか。

【企画部長】 財政改革により紙ベースの資料は極力削減し電子情報を活用している。

【質問 2】 昨年の全自治会懇談会の総括と自治会初集会への出席目的。また、自治会の自立についての今後の方針はあるのか。

【市長】 自治会懇談会は非常に有効であった。

【総務部長】 地域コミュニティは、今後も大変重要な。自治会長がコミュニティの中心的立場で地域のリーダーを育成し自立をしてほしい。ローカル・ビジョンの策定や自治会事業のコンテストは理想だが時期尚早である。

【質問 3】 員弁の水源を守ることは、桑名・員弁広域連合の事業ではないのか。鈴鹿山系は外国人に買収される危険予知を。

【農林商工部長】 治山、治水事業は県の業務であり、鈴鹿山系が外国人に買収される情報はない。

【質問 4】 新聞記事「医療費削減効果5,500万円」の提供に市の関与があるのか。算出根拠の資料を提出せよ。5,500万円は数字のマジックで市民を翻弄する。レセプト開示は個人情報保護で問題だ。

【福祉部長】 長寿介護課が資料の提供をした。国保対象の5,544名のレセプトを調べた。

【市民部長】 レセプトの開示は条例に基づき提出したので問題はない。





自由改革クラブ
小川克己

1. 小学校の統合計画はあるのか
2. 大安中学校の状況は
3. いなべ産の蕎麦の販売は

【質問】 平成31年度には全校生徒が20名程になる小学校がある。小学校は地域コミュニティの拠点で、統廃合には住民の合意が必要であるが計画はあるのか。

【教育長】 現在のところ、教育委員会で協議は行っていない。今後、議論をして行く必要性は個人的には感じている。

【質問2】 ①過去1年間に教職員の途中退職者、休職者の有無と原因。②大安中学校内の状況と対応。

【教育長】 ①退職者無し、休職者は3名で指導上の理由か自身の環境変化が起因に考えられる。②学校では問題発生時の対応マニュアルの作成、生徒指導にかかる教職員の意思統一。PTAによる校内巡視、

授業参観の協力、校則等のチェック、会員による登下校時の指導。県教育委員会と連携し、指導や助言をもらっている。

【質問3】 蕎麦の栽培面積85haで収穫量、価格、販売先、価格補償は。「道の駅」等での販売計画はあるのか。

【農林商工部長】 収穫量約85トン、価格は変動で一定ではなく1俵(45kg)1万円から1.3万円程度で名古屋、大阪等都市圏の製粉業者と市内直売所で農家自ら製粉した蕎麦粉を販売し評価を得ている。平成23年度から所得補償の対象となり保証金が出る。障がい者施設で製粉と製麺に取組み蕎麦の商品ができる。市内の店舗での販売が可能となり、いなべの蕎麦がPRできるので行政も応援する。



蕎麦の花



市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。

◎ 大安中学校を早く新校舎にしてください。よろしくお願いします。 52歳 女性

◎ 議員さんの心温かい質問をいつも読んでいます。これからも市長さんに少しでも届くように頑張ってください。 66歳 男性

◎ 議員さんが市民の代表として市に訴えてくれますが、市長さんの答えがはっきりしすぎている。もっと市民のことを考えて質問に答えてほしいと思います。議員さん頑張ってください。 61歳 女性

◎ 市の緊急の報告を統一化してください。私の住んでいる阿下喜地区のスピーカーでの放送では何を連絡しているのかがわかりづらい。インターネット、いなべ10では遅い。オフトークのような物が良いと思います。 54歳 女性

◎ サルの駆除頭数が多くてびっくりしました。車での走行中や散歩中でもたくさん見かけるので大変な仕事だと思いました。 55歳 女性

◎ 高福祉、高負担、市民の皆さんに理解できるような政策を。 78歳 男性

◎ 「議会だより」をいつも長く時間をかけて読ませてもらっています。孫の学校に関係すること、野焼きのこと、今一番気になっているサルのことなど私達に身近なことを良くわかるように説明されていて助かります。これからもよろしくお願ひします。 64歳 女性

◎ できるだけ執行部の答弁を詳しく知りたい。 80歳 男性

◎ 今年は雪の多い年になり、雪の除雪に労力を費やした次第です。今年も議員さんよろしくお願ひします。 59歳 女性

◎ 議員のみなさん今年も頑張ってください。 63歳 女性

◎ 「議会だより」がとても読みやすく、市の状況がよく理解させてもらっています。ありがとうございます。 69歳 女性

◎ 地域のこと、市議会のことの情報が少ないため、「議会だより」は広い視野で物事が見られる唯一の手段です。議会も一度傍聴したいと思います。 71歳 女性

◎ 議員の皆様には、いなべ市を良くするために一生懸命頑張っていただきありがとうございます。厳しい時代に直面してあり、高齢者の身ですので福祉問題もよろしくお願ひします。 71歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを拝読して、いろいろわかりやすく身边に思い楽しみにしています。 72歳 女性

◎ 最近、特に自然被害が多発しています。火山、豪雪、国政、大相撲。いなべ市はこれにめげず行政に励んでいただきたいと思います。 55歳 女性

◎ 子どもたちが走り回れて遊べる公園が少ない。歩いていける広場がほしい。車がないと行けない大きな公園はまさにしか行かない。 34歳 男性

◎ T P Pは大変な問題、農業経営がさらに厳しくなる。意欲を失う。 67歳 男性

◎ 市のだいたいのことは、議会だよりで分かります。でも、議会を聞いてみたいし、見てみたいと思います。 64歳 女性

◎ 議員さん達が市のため一生懸命活躍してくださりありがとうございます。これからも市民のためによろしく。 70歳 女性

◎ 初めて議会だよりを読ませていただきました。市民の方の質問にとても丁寧に答えが書いてありびっくりしました。市長の答えも読み、いなべ市に住んでいることの良さを改めて感じました。 28歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいている。議会改革にも積極的に取り組んであられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。

また、「議会だより」についての「アンケート」は、綴じ込みハガキ等で回答（選択肢方式）できるようにしたらいかがでしょうか。クイズも楽しいですが、クロスワードパズルなどを掲載していただくとうれしいです。 76歳 男性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいている。月に1日～10日ほど勤務する非常勤の行政委員で月額制の委員があれば日額制に変更するように、市に対して求めていただきたいです。

また、市が行う事業の費用の入札・落札率（予算に対しての落札価格）は何%ぐらいなのでしょうか？「安かろう、悪かろう」では困りますが、随意契約を競争入札にするなど経費削減に努めるように、いなべ市に対して求めていきたいです。 46歳 男性

◎ いつも読ませていただいている。議員さん達の思いがそれぞれよくわかり、自分の思いを重ねています。 65歳 女性

◎ いつも御苦労さまです。これからも市民が暮らしやすくなるよう議員さん達の力に期待しています。十社地区には議員さんがいないので声が届けにくいところがありますのでよろしくお願いします。 62歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいている。議会改革にも積極的に取り組んであられるようですが、「通年議会」で機敏性を良くし、一般質問で市長ら答弁者から質問も受けるなどをして、議論の活性化を図ったらいかがでしょう。 75歳 女性

◎ 東海環状の早期開通を願います。 84歳 男性

◎ 社会福祉の件でお聞きします。市民の皆様より社協のほうに香典の寄付があると思われますが、どのように使われているかが市民には不明です。 56歳 男性

◎ ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの助成券をもらつたが、もう自費で接種した後でした。子どもためにお金をかけるのは気にならなかつたが、自分がお金を使った後に、みんなが無料で検査ができることになりすごく怒りを感じる。助成金分だけでも返金してほしいと思う。助成券が手元にこなければよかつたのに。 32歳 女性

◎ 議会の内容が私達には今ひとつ何を話し合っているのかピンとこなかつたけれども、議会だよりを読めば反対意見、賛成意見の内容がよくわかりますね。 39歳 女性

◎ いつも時間があれば読ませてもらっています。老ひし今は頭にいれておくのは半分位ですけれど、自分なりに国政も市政も大変厳しく、子どもや孫の時の世の中はどうなるのかと心配しています。どうか皆さんで良き知恵と考えで良い方向へよろしくお願ひします。 82歳 女性

◎ 毎回議会だよりを読ませてもらっています。内容も読みやすく、わかりやすいです。議案の審議結果一覧表は各議員の意思表示がわかり、とても良い表ですね。今後も住み良い市に議員一同頑張ってください。 67歳 男性

◎ いつも興味深く愛読させてもらっています。最近、行政サービス等が資金不足で行き届かなくなってきたが、少しでも住み良い市になるようよろしくお願ひします。 60歳 女性

◎ 議会だよりは読みやすく楽しみしています。 64歳 女性

◎ いつも読ませていただいている。議会のことがよくわかります。これからも頑張ってください。 63歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいている。議会改革にも積極的に取り組んであられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。

また、「事業仕分け」をして経費削減に努めるように、いなべ市に対して求めていただきたいです。 48歳 男性

◎ 藤原町の白石工業跡地の水汲場に対するP C Bを含む水ということですが、その後どうなっているのでしょうか。良いか否かの判定を知りたいです。 70歳 男性

◎ 住みやすい、いなべ市になるように議員の皆様に頑張っていただきたいと思います。女性の議員さんには女性だから気づかれこともあります。女性としての目で見て感じたことを市政に生かしてください。 64歳 女性

◎ 年に何回か決めて小学校の児童にも理解できる方法で、いなべ市議会の様子を伝えることができたらいいなと思います。どんなことでも少しづつでも行動してこそ始まつていくものだと信じています。 60歳 女性

◎ 議員のみなさん頑張ってください。いなべ市のために。 47歳 男性



クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は、問1 一問一答方式　問2 ②意見書　問3 丹生川保育園

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人が当選されました。

出 口	長崎美智子 様	下 笠 田	市川 貴己 様
下 相 場	川瀬 俊雄 様	麻 生 田	伊藤美夜子 様
別 名	藤田 美子 様	南 金 井	館 たみ子 様
みその団地	亀川 清一 様	新 田	渡辺 久美 様
丹生川上北	梅山 利光 様	志礼石新田	中村喜美子 様
東 村 西	西脇 克志 様	本 郷	近藤美寿穂 様
西 町 3	近藤 智子 様	畠 新 田	市川 純太 様
石 仏	市川 稔章 様		

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

山郷重度障害者生活支援センター竣工式



テープカット（中央が小林昌彦 副議長）



祝辞を述べる小林昌彦 副議長

編集後記

「議会だより第28号」をお届けします。3月定例議会は、「来年度の予算を審議する」議会です。みなさんからお預かりした大切な税金をどう活かしていくかを慎重に審議し、議会最終日には一般会計予算について多くの討論が行われました。予算の中身を知る参考にしていただけるものと考えます。

また、議会改革として取り入れられた代表質問、一般質問の一問一答方式、常任委員会の日程改正など充実した審議への手応えを感じられる議会でした。

議会傍聴にもお気軽にお越し下さい。

6月定例議会（予定）

◆開会日	6月 2日(木)
一般質問	6月 6日(月)
一般質問(予備日)	6月 7日(火)
総括質疑	6月13日(月)
総務常任委員会	6月13日(月) <本会議終了後>
教育民生常任委員会	6月14日(火) <9時から>
産業建設常任委員会	6月14日(火) <13時30分から>
常任委員会(予備日)	6月15日(水)
◆閉会日	6月22日(水)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL(0594)78-3515/FAX(0594)78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>